



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 6 月 3 日(日)
日吉神社の嫁見祭り 編

中の申嫁見祭

今年は準備から当日までの一連の作業が思いのほかスムーズに進みました。

3 日当日はお天気にも恵まれ、すみれ会の屋台(おでん・すみれケーキ・花嫁しおり・会津若松応援セールなど)を中心に常盤ときめき隊(そばがき・焼き鳥・野菜販売), あばんしえ(マップとグッズ・三陸の鮭網ストラップなどの販売)が出店。さらに能代市連合婦人会, 西大通商店会なども加わり, 新規にはお菓子・木工製品・B 級グルメの店が出店。いつもの綿菓子・軽食・おもちゃの業者もズラリと並んで大いに盛り上がりました。

すみれ会の準備作業は 5 月 21 日(月)200 個のスギ灯り用のろうそく作りから始まりました。今回は藤里町の宝昌寺住職・新川さんによるジャムなどの空きびんを利用したものです。このろうそくは 3.11 東日本大震災 1 年後の追悼行事に使われたものです。この時にはほっとステーションですみれ会や一般の方とともに 250 個ほど製作しました。今回も同じものを作ることにして、空きびんを持ち寄りました。

6 月 1 日(金) 最終打ち合わせ。日吉神社に運ぶ物品の確認とほっとステーションの片付け, 翌日のおでんとすみれケーキ作りの日程確認, 材料とラッピング材の点検。

6 月 2 日(土) 午前 9 時半よりおでんとすみれケーキづくり。すみれ会 7 名, 一般 1 名の参加。みなさん手馴れたもので二手に分かれて段取り良く進み, 午前中におでん 200 食・すみれケーキ 150 個が完成。午後は調理台の後片付けやケーキのラッピングをして, 午後 3 時半頃に終了。おでんは夜と翌朝に 1 回火を入れることにして全ての作業が終了。

6 月 3 日(土) 嫁見祭り当日は正午に集合。販売会場の設営, スギ灯りとろうそくの設置などをしました。万緑と爽や



気持ちの良い新緑の日曜日の午後。今年もあてやかな花嫁行列が続きました。



例年通り、働く婦人の家で事前準備。大量のおでんやケーキ作りをしました。



すっかりお馴染みとなったすみれ会の屋台と常盤ときめき隊の焼き鳥バー。新緑の中に一段と映えますね。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

かな風、祭り日和です。お天気に誘われていつにない人出となり、県内はもとより、東京からおいでの方もありました。

奉納野外コンサートの2回のステージはなかなかのもので、子どもから年配の方までスギ縁台にゆったりと腰をおろして手拍子を売ったり、リズムをとったりして楽しんでおられました。コンサートは2度目の開催だったからか、観客数も去年の倍以上でした。

午後4時過ぎには広い境内は大勢の人でにぎわい、各お店も参拝者や見物客への呼びかけと販売に大忙しになりました。新規参加のお店も早々に完売となり、出店された方々も大層楽しかったとのことで、来年もぜひ参加したいと話しておりました。因みに私も、最近噂のバター餅を味見しました。

夕暮れには、境内から井坂記念館に続く通路にスギ灯りのろうそくがやさしく灯されて幻想的な雰囲気となり、とても美しかったです。記念館の方のお話では、これまでにない見学者数であったとのことでした。

こうして普段は静かな日吉神社の社は、今宵ひととき花嫁の幸せを祈る人々と花嫁のあでやかさを愛でる見物の人々にぎわう、華やかな祭りの場となりました。

お祓い済みの「中の申花嫁しおり」は、その愛らしい姿に女の子の良縁と幸せを願い、2つ3つと買い求められる方が大勢いらっしゃいました。すみれ会のためにと東能代のある方が1枚1枚手作りして下さったものです。

すみれ会の活動は毎回少ない人数で必死に準備し、終われば疲労困憊の繰り返しですが、少しずつ手順と要領を得ながら回りの方々に後押しされて前進しているのを感じます。来年もこの場でみんなで元気に参加できることを願っています。快くお力添えを下さいました全ての方々に感謝です。

文：相澤 レイ子



あばんしえ(上)の新キャラクター缶バッジが人気でした。AREAはこの日にちなんだオリジナルグッズを販売(中)。会津若松支援の物販も人気でした。



あばんしえの美少女キャラは花嫁姿で登場。能代の色々なイベントで姿を変えると人気でそうですね。



毎回人気の花嫁しおり。今回は講師をお招きして講習会を開き、みんなでその作り方をマスターしました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

嫁見まつり 境内コンサート

滅多にない日曜日の開催、そして晴れということも手伝って、境内はたくさんのお客様で賑わっていました。境内でのコンサートは昨年に引き続き2度目で、ウッドデッキのステージや木製のテーブル、ベンチを設置し、木の温もりあふれるくつろぎスペースを演出しました。

出演者は2組。昨年、湿気に弱いという三味線片手に小雨の中で演奏しきっていただいた銭高組さんに今年もお願いし、時に力強く、時に風流な演奏とそして忘れてはいけないう軽妙なトークを披露していただきました。

南米の楽器サンポーニャやケーナを演奏するバンド EOS さんにもご出演いただきました。アンデスの音色が境内の木立の中に響き渡りました。三味線の音もパーカッションの音もギターの音も、更には南米の音までもが不思議と空間に調和して、お客様もリズムに合わせて手拍子をしたり、体を揺らしたりと、思い思いに楽しんでいただけたようでした。

文：小野 さくら



新緑と木漏れ日の中のコンサート。多くのお客様に楽しんでいただけたようです。スギ縁台やスギベンチも合いますね。小野さんの司会進行も爽やかでした。

嫁っこ見ない、嫁見祭

天気の良い日(日曜日)はなにかと気持ちがいいもんだ。午前中老人クラブの花壇の草取り、昨年植えたなでしこ、すごくきれいに見えた。名づけて、なでしこジャパンロード。この勢いで嫁っこ見に急いだ。

開館の準備も整い、日吉神社境内の舞台設置を少し手伝い、お客さんの来館をまちました。1人2人・・・と続いてお客さんが来てくれて嬉しかった。日吉神社を素通りしていく人の気持ち理解できなかったが、臨時開館の看板は非常にわかりやすく、お客さんを引き付けてくれたと思いました。

また、続く続く。2階で説明していると1階でざわざわのお客さんたち。入館者数を最初は正の字で記録していたが分からなくなり、1・・・5・・・3 と数字で書き示し、最後には計算機集計で128名でした。何回も電卓を打つ、間違いなし。万歳1人して喜んだ。



今年も井坂記念館は特別開館。いつもは午後5時までのところ、7時まで延長です。能代の偉人のこと、もっと多くの方に知っていただきたいですね。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

こんな人もいた。

- ・うちのオジイサン秋木機械に勤めていた。
- ・山の仕事に興味がある。造材に興味がある。一度見たかった。また来たい。
- ・むかし、おれ、桶屋であった。
- ・おれの屋根も木羽であった。
- ・わたし秋木に勤めている人に嫁にきた。
- ・井坂さんの業績を知り、いま生きていたら能代はどんな町になっていたのだろうか。知恵を借りたいものだ。
- ・外人さんが来た。挨拶知らないので帰りに、日本語わかりますかと尋ねたら、わかりますと話してくれました。だったら説明してあげればと悔しかった。
- ・何十年かぶりの出会いもありました。話の続きはまたの機会にと。

などなど。だんだん熱っぽくなり、嫁っこに遅れると急いで惜しむように会館をあとにしていった。

だんだん暗くなり。灯ろうに点灯されてすごくきれいであった。風もなく、周りの静けさに吸い込まれるようにあかあかと燃え続けるろうそくの火は幻想的であった。井坂直幹さんの座右の銘「渠成水至*」を思い浮かべ、公園の草刈の美しさを見ていた。

すみれ会の差し入れおでん、助かりました。半分食べて感謝し、半分家に持ち帰り、家内と一緒に感謝しました。常盤の焼き鳥、そば切り売れたかなあと心配もした。スタッフの皆さんに感謝であります。

日吉神社の嫁見祭と井坂記念館の人々。能代の人々の交流の場でもあります。

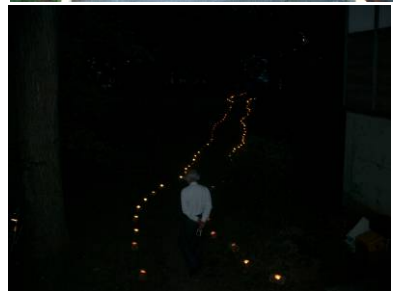
私には嫁っこ見ない、嫁見祭でした。

文： 小林 甚一

*水^{きよ}に^なりて渠成る＝水が流れると自然に溝ができるように、時期がくれば、物事はおのずとできあがる。深く学問をすれば自然と道が修まり、徳が身に付くこと。



井坂記念館案内人の小林さん。この時はまだまだ余裕があったのですが…。



使用済みろうそくと空きビンで作ったろうそくをスギ灯りに入れ(下)、神社から井坂記念館まで並べました(上)。夜の幻想的な風景は小林さんも見とれてしまうほどでした(中)。



ウッドデッキを始めとする機材の設置と撤収では幸和リース(株)さんに大変お世話になりました。もう全てお任せできるほどだとはい。佐々木先生の弁です。